

# 2021年度 メリー★ポピンズ kids朝霞ルーム 事業計画書

## 1 基本方針

**保育理念**…にんげん力。育てます

**保育方針**…センス・オブ・ワンダー、人対人コミュニケーション

法人の方針、理念を鑑み「子どもを中心とした保育」の実現を目指し、メリー★ポピンズ kids朝霞ルームの保育方針は以下のようにする。

### 〈子ども中心とした保育〉

- ・子どもの主体・意欲・関心を育てていく。
- ・豊かな感性、表現力を伸ばすべく協同で1つの物を創り上げていく。
- ・異年齢児保育・インクルーシブ保育で生活していく。
- ・食育活動を更に高めていく。

### 〈どろんこの子育てで身につく6つの力〉

- ・ケガをしない強い力を育てる。
- ・自分でできることを自分でする。
- ・すべての人との関わりから判断・行動を身につける。
- ・活動を選択し、自分で考えて行動する。
- ・生死を知る。
- ・感じたこと・考えたことを表現する。

### 〈1〉 保育内容の充実・質の向上

保育士、調理師、栄養士、事務員など全ての職員がそれぞれの専門知識と技術のスキルを磨き、常に自己目標や園目標に向かい、研修などを利用しスキルアップを図るようにする。職員同士が常に連携を図り、チーム保育をすることで子ども達を健やかに成長させるために保育の質を向上させていくよう努める。

ポートフォリオの充実を図りながら、子ども達の育ちを職員同士で共有し、子ども達の発達に応じて、経験させたいことやそのための保育士の援助を明確にしていく。

子ども達の活動の中に以下を組み込む。

- ・ 9時散歩出発、長距離散歩に出かけ園外活動での経験を表現に繋げ(唄、音、絵、造形、言葉)活動を通して発展させていく。
- ・ 子ども同士グループで1つの成果物を創り上げる。複数の人、意見、行動を合意形成する経験により、合意形成errorと感情コントロールerrorを繰り返していく。創り上げたものは、保護者や地域の方に生活発表会等で発表する。

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

お迎え対応を3分間丁寧に行う。連絡帳、タイムライン、個人面談など保護者とコミュニケーションが図れるツールを有効活用することで、保護者との密な関係を図る。

保護者からの発信を見逃さず一つ一つ受け止め、全職員が一人ひとりの保護者を理解し平等に対応することで、保護者との信頼関係を築き、職員一丸となって共に子育てできる場となるよう努力し、選ばれる保育園を目指す。

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

保育園の周辺に、マンションが次々に建設され、若い家族が増えてきている。地域の中核として、子育ての手伝いや仲間探しとしての橋渡し、子育てに悩む保護者の窓口になるような「地域に開かれた子育て支援」を目指す。

保育活動の様子や保育の楽しさの発信を継続的に行っていく。ポートフォリオを保護者、地域へブログなどを用いて公開していき、親しまれる施設を作っていく。

地域公開講座や小学校と連携した学びの場などを通じて、子どもの発達について地域の方や保護者の方が一緒に学べる機会を作っていく。

## 〈4〉 次世代を担う職員育成

保育のプロとして実践を積むために自主的に、保育スキル講座や外部研修に参加し、子ども達の心を読み取り、応答的な対応ができるよう学んでいく。

毎日の昼礼、園会議、乳児会議、幼児会議等、職員同士が常に話し合う場を持ち情報を共有することで、チームで振り返りながら必要な援助を考えていく。

## 〈5〉 チーム保育の実践

全職員が保育者として一人ひとりの子どもに向き合うことを基本とする。保育士、調理師、事務、パート職員、経験年数にとらわれることなく、それぞれの専門性を存分に活かし、子どもの主体性を引き出していく。

より充実した保育を行うために職員が日々、一人ひとりの子どもの事を考え丁寧に伝え合う事が大切である。全職員で話し合うことが難しいようなときは、視覚化した方法を用いて子どもの姿や援助の方法について統一した見解を持つようにしていく。チームとして活動することにより、スムーズな園の運営を目指す。

## 〈6〉 食育活動を高める

幼児クラスと畑係を中心に、育てた野菜の収穫や伝統的な食文化に触れる経験、食材の下処理など、楽しみながら子どもが参加できる活動の幅を広めていく。活動の中で子ども達に種まき、育てる、間引く、獲る、捌く、解体する、焼く、煮る、食べる、加工する等の体験をし、try & errorの経験をさせていく。

保育園が民間のマンション1階に設置されているため、園庭で火を用いることが禁止されている。火を用いることができない代わりに、子ども達が選んだ食べ物や畑の収穫物を用いて燻製焼き作りに挑む。

乳児・幼児に対して自分で食べればよい、だけではなく口腔発達をより理解するための園内研修を設けていく。

全園児が、食べたい時に食べたい場所で食べる、食べたいものを食べたい人と食べただけ食べるよう促す。

3大食育方針を以下のとおり掲げる。

- ・調理師、栄養士、保育士、施設長は子どもと一緒に食べる。
- ・噛む力を育て、素材を味わえる状態で提供する。
- ・子どもが自分たちで盛り付け、配膳して食べる。

## 2 児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	9人	10人	10人	10人	51人

※弾力化による、2歳児1名追加を含む。

## 3 保育園開所時間

7時00分～20時00分

## 4 職員配置

常勤職員	8人	保育士	6人	看護師	0人	栄養士	0人	調理員等	1人
パート職員	7人	保育士	5人	保育補助	1人	事務	0人	栄養士	1人
嘱託職員	0人	嘱託医	2人	言語聴覚士	0人	臨床心理士	0人		

## 5 運営方針

### 〈1〉 運営管理を円滑に行うために以下の施設内会議を勤務時間内にて開催します

施設内会議名	頻度	主な内容
園会議	月1回120分	園内研修、研修報告、行事について
給食運営会議	月1回	アレルギー、離乳食、食育
ケース会議	月1回	個別配慮が必要な子について
昼礼	毎日	子ども達の共有、伝達、事務連絡
乳児会議、幼児会議	月1回	子どもの姿の共有、保育の振り返り

## -2以下の法人が定める施設外会議に勤務時間内にて出席します

施設外会議名	頻度	主な内容
施設長会議	月1回	本部からの伝達事項、検討事項、コンピテンシー
施設長勉強会	月1回	保育園の課題を検討しながら施設長、園、法人全体のスキルアップを図る
食育会議	年4回	各園の状況を伝えていく中で主体的に食事に向かう子どものより良い対応、メニュー、食具の統一
保健会議	年4回	事例検討、感染症やガイドライン等の作成

### 〈2〉 各種係を設置し職員全員が参加して運営します

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の安全管理や備品などの管理
安全対策係	避難訓練や環境安全整備
防火管理者	保育園の災害不審者対応に対する取り組み(避難訓練の立案及び実行、反省等を含む)
食品衛生責任者	食育会議の計画や実践、食品の安全に対する管理
畑係	年間農業計画の遂行や子どもとともに取り組む畑仕事の充実を図るとともに常に整備を図る
生き物係	生き物の飼育

### 〈3〉 対外的に以下の係を設置します

係名	職務内容・役割
朝霞市彩夏祭係	地域子育ての一環として有志の保護者、児童とともに楽しむ
子育て支援係	子育て支援、子育てサロンの計画と立案など

## 6 保育方針

### 〈1〉 基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な行動や欲求に応え、特定の大人とのスキンシップを取り、絆を形成していく。</li> <li>● 一人ひとりの子どもの発達を的確に把握した中で、指示をせずに子ども達が自ら選択をする保育を行う</li> </ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 目を輝かせて遊んでみたくなる環境を整えていき、満足感や充実感を得られるような保育を行う。</li> <li>● 自ら試してみたいと思う環境を準備し、保育者が見守る中で充分遊べるようにする。</li> <li>● 多事や周囲への関心が高まる時期なので、十分に身体を動かし、諸感覚を働かせ、興味関心、思考力の基礎を培う。</li> </ul>

幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発達にあった、遊具、環境が整備された中で、満足感を得られる保育を行う。また、自発的に試してみたいと思う環境を準備し、見守る中で充分遊べるようにする。</li> <li>● 年長児が3歳児とともに生活する中で助け合いを経験していく。</li> </ul>
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の要求や思いを言葉や行動で相手に表現しながら受け入れる感情が育つような保育をしていく。</li> <li>● 異年齢児で触れ合える中で刺激を受け合いながら、自分たちで解決する力を身につけ、相手の気持ちに気づくことのできる保育を行う。</li> </ul>
保育参加	4～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 希望する保護者が1日保育士として保育を体験し、保育参加アンケートに記入してもらう。</li> </ul>
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 随時、希望する保護者に対し実施。</li> <li>● 「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用する。</li> </ul>
意見・要望 への対応	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 連絡帳・口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い、「苦情受付簿」に記載する。</li> </ul>
運営委員会	年2回	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 6月と11月に実施予定。</li> </ul>

## 〈2〉 年間行事計画

- 2021年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2021年度年間スケジュール」に掲載
- 保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉 給食・食育運営方針

- 保育士、調理師、栄養士、全職員で子どもと一緒に食べコミュニケーションを図りながら、子ども達の食の様子を把握していく。
- 給食が大好きな子に育つように、食事の下ごしらえや準備に関わるようにしていく。バイキング、お当番、掃除当番、配膳等に子ども達が積極的に関わることで関心を広げる。
- 離乳食、手づかみ食を行い、食への意欲を育てていく。手でつかんで、口まで運び入れるという目と手と口の協調運動を促す。
- 食事のマナーを見直し、昼礼や園会議などで話し合いの場を持ち、子ども達の発達に状況に応じて保育士の関りを進めていく。

## 〈4〉 保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
職員健康診断	年1回
職員検便	全職員月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	手洗い、うがい、歯磨き、衛生について、命の大切さなど

流行が予測される感染症	通年...新型コロナウイルス 感染予防のためうがい・手洗い指導を行う。3密を作らないよう可能な限り配慮する。 12月頃...嘔吐下痢 1月頃...インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預り	ダイアップ・・・1名より預かり済み／冷蔵庫にて保管
エピペン使用できる職員	本日現在7名が、研修受講し、習得済み。未受講の職員については4月30日までに受講予定。
AED使用できる職員 (AED設置施設のみ)	本日現在7名が、研修受講し、習得済み。未受講の職員については4月30日までに受講予定。
その他保健に関する取組	新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい・手洗い指導を行う。また、消毒、換気を徹底する。

## 〈5〉 各種点検

危機管理	設備点検チェック	年6回／5・7・9・11・1・3月の25日
	事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検（備蓄品点検含む）	年2回／6・11月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全職員
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断 ※認可園のみ歯科検診年1回	内科健診年2回／6・11月の30日頃 歯科検診年1回／6月実施予定
運営管理	児童保護者の人権に関するチェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回
	全スタッフ情報セキュリティチェック	年1回

## 〈6〉 環境整備

- 毎朝早番による園庭、室内等の安全点検を行う。
- 保育室、遊具類の整理整頓、必要な物だけを置く。気持ちの良い環境を維持する。子ども達自らの意思で使用することができる環境構成を行い、清潔で安全な環境を整える。
- 安全面に配慮し水遊びやどろんこ遊びを積極的に取り入れ、全職員で見守る。
- 個人の帽子や歯ブラシなどは、衛生管理に配慮し子ども達が片付けやすい様工夫する。
- 玩具、椅子、机、トイレ等は感染症（新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等）の予防のため午前と午後の1日2回消毒を実施する。
- お昼寝用布団は、年3回布団乾燥にかける。また、毎週土曜日に干す。
- 事故防止チェック・設備点検などを実施し、不備のある場合はすぐ対応する。

## 7 危機管理(防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ)

- ① 原則として危機管理マニュアルに則り行動する。危機管理と危機対応の方法を周知する。災害時緊急連絡「うちのご管理画面」の利用方法について常に確認し全職員が周知する。
- ② 避難訓練を月1回実地する。園児の安全確認及び保護者との連絡体制を確立する。災害発生時対応フローチャートを全職員に周知する。年1回以上、消防署と共に総合訓練を行い、アドバイスを受けながら危機管理能力を高めていく。
- ③ 事故防止チェック・設備点検など定期的に点検を実施し、不十分な項目については園全体で話し合い改善策を考えていく。ヒヤリハット・インシデントの事例は、事故防止委員会で検証していく。
- ④ うちのこアプリに登録された送迎者以外の方には園児の引き渡しを行わない。また送迎者に変更があった際には、早急に保護者に修正を依頼する。
- ⑤ 光化学スモッグについては、朝霞市の情報をいち早く職員に伝達する。特に戸外にいる職員は、素早く園児とともに日陰に退避し、保育園に戻る対応を考えるよう日頃から注意する。また、園内に居る場合にも窓を閉めるなどして子ども達の健康状態に留意する。

## 8 実習生・中高生の受入

近隣の中学校や高校から依頼のあった場合は、積極的に受け入れ安心して体験学習を行えるよう配慮する。体験学習を通じて、気軽に保育園を訪れ園児達と交流が持てるよう、行事に誘うなど働きかけを行う。

## 9 職員育成と研修計画

- 園内研修の充実を図りながら職員のスキルを高めていく。園の課題になっている事柄を全職員と共有し、意見交換を行いながら、子どもにとって何が一番必要かを考えていき、実践を積んでいく。

- 系列園5園と一緒に同じテーマで研修を重ね、各園の保育を見つめ直しながら、保育のスキルの向上を図りながら、職員交流を深めていく。
- 行政の保育団体が主催する外部研修や法人のスキル講座に参加し園内研修に繋げていく。
- コンピテンシーのNo.1・2「プロになる」「保護者の立場に立つ」は、チェックだけでなく、自分達が利用者だったらどうするか、涙が出るほどの対応とは何かを、園内研修の中で取り入れ全職員で意見交換をし、保護者の気持ちが汲み取れるようにしていく。

## 新人研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修  
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修

### 保育スキル研修



←お迎え  
対応研修

## 新人社員研修

- 新人社員研修  
→ 会場研修  
→ 系列園保育実地研修



←避難訓練研修

## スタッフ研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)  
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

### ① 2021年度園内研修計画(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月16日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の乳幼時の目標	コンピテンシー 「プロになる」を深める 乳幼児に分かれ、保育内容の確認
5月21日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② Try&error	コンピテンシー 「プロになる」を深める 子ども達がグループになり1つの物を創るために
6月18日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点	コンピテンシー 「保護者の立場に立つ」深める
7月16日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども達の養護とは?	コンピテンシー 「保護者の立場に立つ」深める 養護についての理解し、対応を考える
8月20日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども達の言葉かけ	コンピテンシー 「プロになる」を深める 子どもに対する、対応、言葉かけ
9月17日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点	コンピテンシー 「プロになる」を深める
10月15日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 環境設定	コンピテンシー 「保護者の立場に立つ」深める 後半の環境を考え共有する
11月19日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点	コンピテンシー 「保護者の立場に立つ」深める
12月17日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども達の成長共有	コンピテンシー 「プロになる」を深める 成長を共有し、新たな対応を考えていく
1月21日(金)	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の乳幼時の反省点	コンピテンシー 「プロになる」を深める 今年度出来てない点の共有来年度に繋げる
2月18日(金)	18:00~20:00	策定会議①	事業計画のポイント
3月18日(金)	18:00~20:00	策定会議②	来年度の計画



② 2021年度子育てスキル研修計画(エリア共通計画)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	会場	総予算	按分予算
5/28 (金)	18:30-20:00	水の事故	仲町どろんこ	0円	0円
7/23 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム①	ふじみ野どろんこ	0円	0円
9/22 (水)	18:30-20:00	性教育	朝霞どろんこ	0円	0円
9/28 (火)	18:00-19:00	「子どもの認めてほしいという気持ちを満たす」～ふれあい遊び～	kids 朝霞ルーム	0円	0円
11/20 (土)	10:00-11:00	感染症と歯科について知ろう	志木どろんこ	0円	0円
11/27 (土)	10:00-11:30	幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続～1年生のスタートカリキュラム～	志木駅前ルーム	0円	0円
1/21 (金)	18:30-20:00	さくらさくらんぼリズム②	朝霞どろんこ	0円	0円

③ 外部研修への出席

2～3月実施の「外部研修受講アンケート」に基づき、施設長および運営部が推薦する。

④ 法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (保育の質会議)	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
全社員研修	2021年度内に新型コロナウイルスの感染予防策を検討して開催予定。正社員およびパート、アルバイトを含めた15名の職員が出席予定											
リーダー養成研修	選ばれた職員が参加予定											
デモンストレーション	希望する職員が応募											

⑤ 職員個人別育成計画

- 施設長が年2回（5月16～24日と11月1日～12月9日）に実施するフィードバック面談時に個人ごとの次半期目標設定と併せて、次半期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える
- 朝霞市からのアナウンスによる研修に積極的に参加する。
- 外部研修は積極的に参加を促し、保育の質を高めていく。
- 法人による全体研修への参加。
- 保育の質を上げる会議への参加。
- 個人目標に研修計画も含める。

## 10 地域交流計画

- 近隣の系列園交流や商店街ツアー等を通して、地域交流を図る。
- 青空保育では、地域の親子連れに積極的に声をかけ保育の中に誘いながら交流を持つ。
- 老人施設の訪問を定期的に行う。

具体的な地域交流計画

青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：朝霞の森にて
商店街ツアー	週1回 近隣市町村説にて実地
世代間交流	地域との交流を積極的に行い、多様な年齢層の中で人との繋がりを大切にしていく。 通りすがりの方に自然に挨拶が出来るようにしていく。
異年齢交流	3歳児から5歳児まで日常的に異年齢保育を行い、生活の中でお互いを見つめ合いながら成長していく。 0歳児から2歳児までは子どもの成長の姿を見極めながら、異年齢で過ごせるようにしていく。
地域拠点活動	保護者の保育参加を随時受け付ける。
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉

## 11 小学校との連携の計画

朝霞市の幼児教育進行委員会などに積極的に参加し、教師との話し合いの機会を多く持つよう働きかけを行っていく。

以下の計画について、小学校と相談、協議し開催する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	計画したい活動名（会場）	内容
9月頃	朝霞市立朝霞第八小学校	10名予定	運動会見学	子ども間交流
1月頃	朝霞市幼保小連絡会	職員1名予定	小学校の教師と面談	職員間交流
10月頃	朝霞市立朝霞第八小学校	20名予定	しいのみ祭り	子ども間交流
10月頃	朝霞市立朝霞第八小学校	20名予定	マラソン大会見学	子ども間交流
2月頃	朝霞市立朝霞第八小学校	10名予定	小学校見学	子ども間交流

## 12 要支援児計画

【個別支援計画の作成・見直し】

- 保護者面談を重視する。子どもの発達、成長を同じ視点で得られるようにする。またインクルーシブ保育の中で、計画との整合性があるか具体事例に基づいて検証していく。
- 少しでも安心した生活が送れるように職員間で共有を行い、子どもと丁寧に関わりすることで援助していく。

【毎月のケース会議開催】 4～3月に計12回開催予定 参加者：担当保育士予定  
計画と実践、P-D-C-Aに則り、具体的に検証し、全職員同じ視点に立ち保育できるようにしていく。

【進級引継、および、小学校への引継】

- 進級引継ぎは、書面と引継ぎ会議で行う。
- 小学校への引継ぎは朝霞市児童指導要録、または各校担当職員との面談によって行う。

### 13 子育て支援事業

以下、子育て支援事業を実施する。

園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 ※新型コロナウイルスにより行政から中止の指示がある場合は、その旨掲示でお知らせをする。
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
子育てサロン	毎月1回(土)10:00～12:00まで開催
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：朝霞の森にて開催

### 14 福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

### 15 園による自己評価の実施

2021年4月16日に「内部監査チェック表」を用い以下の通り、自己評価を実施予定。

自己評価開始予定時刻：14時00分

自己評価終了予定時刻：14時30分

自己評価実施予定者：全職員

## 16 メリー★ポピンズ kids朝霞ルーム3か年計画の具体化

### 2021

チーム保育の定着を目指していく。

職員同士が「子どもの心を読み取る力」を身に着けるため、研修などを通してスキルアップを図っていく。

職員同士の連携がスムーズとなり、応答的な対応を心掛け同じ方向性で保育運営ができるようにする。

### 2022

見守る保育の定着を目指していく

子ども達が主体的になり自分で選択した遊びや行事を楽しめるようにする。

子ども達の気づきをさらに深めていけるように、様々な会議の中で子ども達を捉えていき子ども達を楽しめるような企画を提供していきたい。

また、子ども達自らの園アピールポスター等を制作し地域の方を巻き込んでいく。

### 2023 地域に開かれた保育園を目指す

地域との関りを積極的に持つよう努める。地域の子育ての拠点となる。

戸外活動時に積極的に声掛けをし、地域の親子との触れ合いを多くする。

青空保育に留まらず、園児と地域の方が遊ぶ機会を設け保育園を知ってもらう。

地域の催しものは、子ども達と積極的に参加し地域に溶け込むよう努めていく。

園の行事にも、チラシなどを配布し気軽に参加できるようにする。

以上